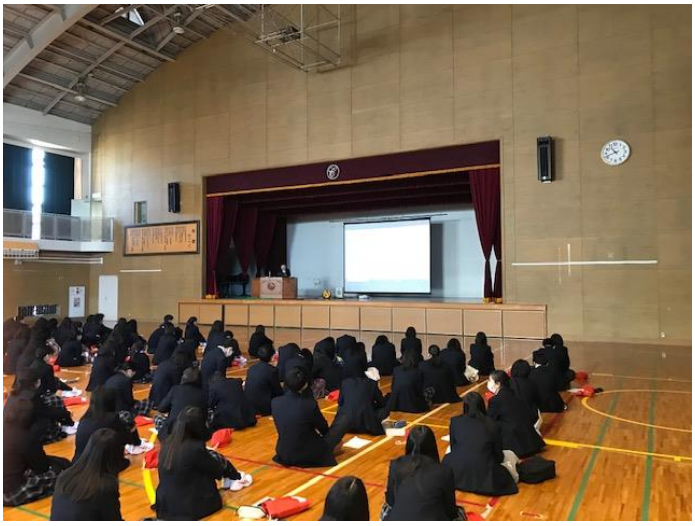
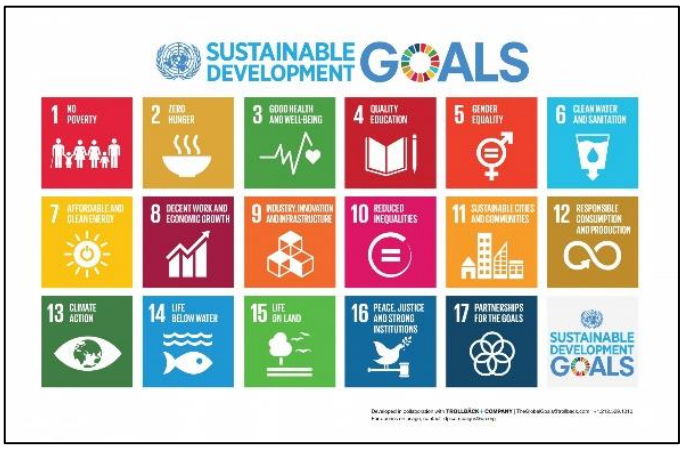
２０２０年度　キャリアアドバイザーセミナー

１２月下旬、１学年を対象に立教大学 大学院２１世紀社会デザイン研究科 教授 社会デザイン研究所所長 法学部 中村陽一教授を講師にむかえ、『社会をデザインする』のテーマで講演会を実施しました。中村教授はソーシャルビジネスやNPO／NGOなどの分野でご活躍されていて、千早高校創立から関わっていただいている方です。

今年度より、１学年の教科「商業」科目「ビジネス基礎」で、SDGsの学習をしていることから、今回は従来の内容プラスSDGsの１７の目標と１６９のターゲットの内容も含めたお話とをしていただきました。

講演では、『社会デザイン』の『社会』とは社会的排除・構造的背景のことを言い、『デザイン』とは人間を幸せにすることで、そのためにさまざまな関係を調整してよりよい状態にする行為のことを『社会デザイン』という。人間の３つの自由とは①移動する自由、②集まる自由、③会話する自由（コミュニケーション）であるが、まさに今、コロナ禍で全部制限されていて、その解決には、ビックデータの解析や活用が不可欠であること。２１世紀社会は多くの課題に直面していて、この現状に終止符を打つべくして生まれたのがSDGsであるなどをお話していただきました。

生徒たちは『社会をデザインする』ことSGDsが結びついていることや２学期に学習したＮＰＯ／ＮＧＯなどの非営利と企業の営利が別々なものであるという考え方では、企業も社会も持続可能性を保てなくなるなどを知るよい機会となりました。